

令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	同等	上回った	上回った	同等	同等	上回った
埼玉県	63.6	62.7	60.8	63.9	63.0	56.5

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	6-C	7-B	7-A	5-C	6-C	6-A
埼玉県	6-C	7-C	7-B	5-C	6-C	6-B

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小		4	3		2	1
埼玉県		3	2		2	1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		小4		小5		小6	
質問事項		桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	92.8	86.8	93.3	86.5	91.6	81.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	83.3	82.6	83.3	75.5	77.3	74.3
	・はっきり挨拶をすることができる	80.9	80.3	83.3	77.4	80.9	77.7
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	73.8	82.1	83.3	81.8	90.5	85.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	89.3	86.4	93.3	84.6	89.3	85.0
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	51.2	45.6	46.7	43.3	48.8	45.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	73.9	55.0	73.3	59.4	69.1	58.4
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	11.9	27.3	21.1	20.0	23.8	17.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	69.0	70.2	74.4	72.1	78.6	76.1
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	78.5	76.2	74.5	69.0	77.3	64.9
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	77.4	73.3	70.0	68.0	71.5	65.2
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	76.2	77.6	80.0	77.0	71.5	75.6
	・授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	14.9	16.8	13.3	16.4	13.7	17.8
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	71.4	24.8	54.5	24.3	54.8	24.0
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	94.1	90.4	96.6	91.7	92.9	92.0
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	89.2	90.6	97.8	92.3	92.8	92.6
	・学級での生活は楽しい	86.9	93.6	94.4	91.2	88.0	90.0

【質問紙分析】

- ・「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童の割合が高いのは、学級活動等の授業や学校生活全般で、目標をもつことの意義を学ばせているからと考えられる。
- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題も含めて学習に利用した」割合が県と比べて大変高い。家庭において、タブレットを使った学習を積み重ね、地道に問題数をこなしていることがわかる。
- ・「学級での生活は楽しい」割合が県と比べてやや低いのは、「勉強がよくわからない」「友達との関わりが心配」と感じている児童の声であると考えられる。そのため、教師や友達と、話し合ったり関わり合ったりする機会を意図的に設けることを継続していく。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・学校のタブレットを家に持ち帰らせ宿題等に利用したことで、自分のペースで学習を進め、自分に合った学びができたと考えられる。
- ・授業を通して学んだ内容について、児童の振り返りを大切にし、児童が次の課題を見つけていくような授業を組み立てたことで、個々の関心が深まったと考えられる。

【国語】

- ・伸びが見られた国語の「読むこと」では、本時のめあてをはっきりさせ、めあてを達成するための手立てを考えて、読み取り方の指導を継続した結果と考えられる。
- ・国語の「言葉に関する問題」で、5年生に伸びが見られたのは、辞書で言葉の意味を調べさせたり言葉の意味を授業で丁寧に扱ったりして、語彙を増やすように取り組んできた結果と考えられる。

【算数】

- ・算数の「数と計算」の問題で伸びが見られたのは、機会をとらえてこつこつと問題に取り組ませ、身に付けさせた結果と考えられる。
- ・算数の「折れ線グラフ」の問題で伸びが見られたのは、他教科においても資料やグラフを扱う等、教科横断的に取り扱ってきた結果と考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・伸びが見られた国語の「読むこと」について、自分の考えを言葉で伝え合う取組を教科横断的にすすめ、読み取る力をさらに伸ばしてしていきます。
- ・4年生の「言葉に関する問題」と「読み取り」では課題が見られたが、辞書を引かせて語彙を増やすことを継続していくとともに、授業の中であらすじを理解できるよう取り組んでいきます。
- ・課題が見られた国語の「文の構成の問題」では、主語に対する述語を正しく理解できるように、文章構成についても授業の中に取り入れていきます。
- ・伸びが見られた算数の「数と計算の問題」については、今後も繰り返しの学習を行い、正確に処理できるようにしていきます。
- ・課題が見られた「時刻の問題」では、必要となる時刻の求め方を考えられるよう、日常生活でも意識して取り入れていきます。
- ・課題が見られた「小数の大きさの問題」では、数直線等を読み取りながら数の大きさや大小関係を理解できるよう、意識して授業を行っていきます。
- ・課題が見られた「三角柱の展開図の問題」では、具体物を使って考えられるようにしていきます。
- ・それぞれの学年間で課題を共有し、知識・技能を確実に身に付けられるように授業の工夫・改善を進めていきます。